

# 鳴海先生の 子育てQ&A

児童心理治療施設「青森おおぞら学園」  
施設長 鳴海 明敏さん

鳴海さんは、子育て講座の講師など、私たちにもわかりやすく優しくお話をしてくださる、信頼できる方です。

**Q** 小1の支援学級在籍の男の子です。食事中に飲み物をこぼすと、父親は「気を付けなさい!」と注意したり叱ってばかりです。学校や療育施設からは、失敗しても「すぐにふけたね。」と励まし褒めて接するようにとアドバイスされていて、私はそのようにしているのですが、そのことを父親に伝えても実行してくれません。子どもとの関わり方についての理解を共有するには、どうしたらよいですか?



**A** 我が子の成長を願うお母さんの気持ちがとても伝わってきました。でも、質問を読み返しているうちに、「父親と母親の主導権争い」ではないかと思えてきました。私は、「家庭の機能」が果たせていれば主導権を握るのはどっちでもいいと思っています。

**子どもの成長にとって大事なことは、どちらが主導権を握るのではなく、訳もなく緊張したりすることなく、毎日安心して生活出来ることだ**と思っていますからです。

両親が言い争いをしていると、子どもは不安になり、「自分が悪いんだ」と思って自分のことを責めたり自信を無くしてしまいます。まだ状況を良く理解出来ないの、とにかく自分が悪いと思ってしまうんですね。

アルコール依存やDVなどの問題などを抱える家族を、「機能不全家族」と呼ぶことがあります。

家庭内にいつも緊張感が漂っていて、団欒したりお互いを支え合うという「家庭の機能」が十分に備わっていない家族のことです。

- このような家族の中で育つ子どもたちは
- ① 家族の期待を一身に背負った「ヒーロー」
  - ② 家族の問題を自分自身の問題行動として行動化してしまう「スケープゴート」
  - ③ そこに存在しない振りをして生き延びようとする「ロストチャイルド」
  - ④ おどけた仮面をかぶって不安をかくして生きる「クラウン」
  - ⑤ ひたすら親や周囲の面倒をみようとする「ケアテイカー」

などのように、その子本来の生き方が出来ずに、家族の中で「特別な役割」をとるように強いられ、成長するにつれてどこかに無理が生じてきて、生きづらさに苦しむことになると言われていきます。わが子にそんな思いをさせたくはないですよね。

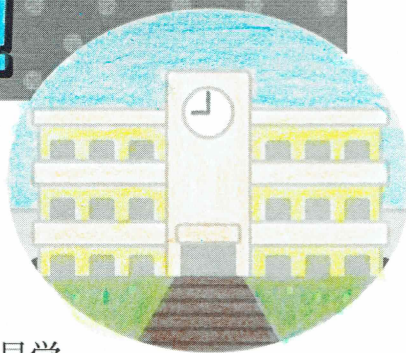
自分の方が正しいと思っているときには、相手を変えようとしがちですが、**今の状況をなんとかしなきゃいけないと思った方が、自分自身を変える努力をする方が簡単です。自分が変われば、相手も変わります。**「励まして褒めて接する」というのは、いいヒントになりそうですね。

## 百聞は一見にしかず!!

第3回  
7/19

### 特別支援学校ってなあに?

～ 学校生活を楽しいものにするために～



### うとう塾ってなあに?

発達に心配(発達の偏りや遅れ)のある4歳～小学校中学校までの保護者や関心のある方を対象に、専門知識を持つ講師をお迎えして、年5回開く子育て講座です。



講師：鈴木 崇さん  
(青森県立青森第二高等養護学校)

今回のうとう塾は、実際に特別支援学校の見学へ行きました。最初に、第二高等養護学校に行き教育内容等の説明を聞きました。

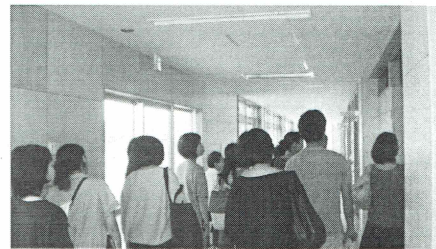
勉強はもちろんしますが、職業的自立のために専門教科(流通、サービスと農業、工業、家政、クリーニング、窯業)を学ぶことに力を入れているそうです。知識と技能の習得も大事ですが、態度の育成に力を入れ、継続する力を大切にしているということでした。教頭先生の『この子はできないではなく、できることを伸ばしてあげることが大切です』という言葉が印象的でした。その後、教室や掲示物など学校内を見学しました。

次に、第二養護学校へ移動して子どもたちの授業中の様子や遊んでいる様子等、学校の雰囲気を感じることができました。見学後は、教頭先生から学校の説明があり、子どもの特性に合わせたクラス編制、課題も特性に合わせて取り組みやすいように工夫をして『生きる力と、ひとりひとりに合わせた教育である』ことがわかりました。教頭先生が教室に入る時、子どもたちに優しく声掛けをしていて、子どもたちをととても大切にしている様子が伝わってきました。



講師：千葉美喜雄さん  
(青森県立青森第二養護学校)

参加者は、自分の子どもが入学した時の様子を具体的にイメージできたのではないのでしょうか。参加者の方々のアンケートにもありましたが、想像していた養護学校とは違い、実際に見学ができて良かったです。『百聞は一見にしかず』という言葉がぴったりな講座でした。



### 参加者の感想

- ☆養護学校を見学したのは初めてでした。想像と実際に見るのはとぜんぜん違い、とても勉強になりました。また、先生方の努力がすばらしかったです。
- ☆就労について詳しく聞けて良かったです。(将来について今から備えられるため)

## 青森市子育てサポートセンター

【TEL・FAX】 017-774-6537 (開設時以外は、留守番電話にお願いします。)

【住所】〒030-0813 青森市松原1丁目6-3 サンピア(勤労青少年ホーム) 2F

【開設日時】 毎週火曜日 10:00～13:00

【E-mail】 aomorishi-saposen@arion.ocn.ne.jp 【ブログ】 <http://blog.goo.ne.jp/saposenrarara>



青森市子育てサポートセンターの運営は、私たち《青森市家庭教育サポーター連絡会》が、青森市教育委員会から家庭教育支援事業を受託して行っています。「青森市内で子育てをしている保護者のみなさんのお役に立ちたい!」という熱い思いで活動に取り組んでいます。